

数学

関西学院大学 全学部日程 [理系] (2 / 1 実施)

<全体分析>

試験時間	90 分	解答問題数	4 題
------	------	-------	-----

解答形式

[1] [2] [3] 空所補充式 [4] 記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

[1] の小問集合が易しくなった代わりに、3 題から 4 題に増加した。

その他トピックス

特になし

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]				
(1)	確率	数学A	くじ引きの確率	易
(2)	指数関数	数学II	指数関数を含む方程式	やや易
(3)	式と証明	数学II	分数式を含む恒等式	やや易
(4)	複素数平面	数学C	複素数平面上の変換	やや易
[2]	数列	数学B	群数列	標準
[3]	三角関数 積分法	数学II 数学III	加法定理の利用、面積計算	標準
[4]	ベクトル	数学C	平面ベクトル、内積の計算	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

多くの分野から、複数の設問に分かれて出題されている。

空所補充式の問題、記述式の問題いずれも誘導が丁寧で、勉強してきた成果が結果に現れやすいが、計算ミスには気をつけたい。

「しっかりした方針を立てて、最後まで正確に計算できる」ことを目標にして、どの分野についても確実に解けるようにしよう。